

教育基盤連携本部 高等教育人材育成システムグループ 教員公募

1. 機関・所属・職名・人員

東海国立大学機構名古屋大学

教育基盤連携本部高等教育人材育成システムグループ 助教 1名

2. 職務内容

【雇入れ直後】

- (1) 大学院生や大学教職員等を対象とし教授法等を中心とした研修の企画・実施・評価
- (2) FDやプレFDの改善を中心とした高等教育分野の調査研究の企画・実施
- (3) アカデミック・セントラル（東海国立大学機構教育基盤統括本部）、教育基盤連携本部、高等教育研究センターにおいて推進する高等教育領域の改善に関する業務
- (4) その他、アカデミック・セントラル、教育基盤連携本部、高等教育研究センター等の業務
- (5) 学部科目、大学院科目及び全学教育科目、大学院共通科目等の担当
- (6) 東海国立大学機構及び名古屋大学が必要と認めた業務

【変更の範囲】東海国立大学機構が指定する業務

3. 雇用期間等

- ・採用予定日：令和8年1月1日以降できるだけ早い時期
(着任時期については、相談の上決定します。)
- ・勤務形態：常勤（任期：採用日から3年間 更新可能性あり。)
- ・給与等：東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程による

4. 分野

- ・人文・社会 - 教育工学
- ・人文・社会 - 高等教育学
- ・その他 - その他
教育工学及びその関連分野

5. 応募資格及び要件

- (1) 博士の学位を有すること。
教育工学及びその関連分野又は人文社会科学分野で博士号を有するか、博士号を取得できる確実な見込み、もしくはそれと同等の業績を有する方。
- (2) 高等教育に関連する調査の企画・実施を担当できること。とくに調査・計量的な分析の能力を有すること。
- (3) 大学等における教育経験を有すること。
- (4) アカデミック・セントラル、教育基盤連携本部及び高等教育研究センターの活動・業務に積極的に取り組む能力と意欲があること。

7. 提出書類 ※すべて電子ファイルで送付願います。

- (1) 履歴書（写真貼付。学歴は高等学校卒業以降を記載。E-mailアドレスを明記。）
※履歴書様式ダウンロード（下記に掲載の名古屋大学の様式をご利用ください。）
<https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/AwA9TYFmJTwpA5R>
- (2) 研究・教育業績リスト（A4版：発表論文、受賞歴、募集内容に関連する活動実績等）
- (3) 主要著書・論文（合計5点まで。すべてについて400字程度の要約を加えること。）
- (4) これまでの活動実績（とくに2.職務内容に関連した実績の具体的な内容を必ず記載すること）
- (5) アカデミック・セントラル、教育基盤連携本部及び高等教育研究センターの職務に関する抱負（A4で2枚程度）
- (6) 応募者についての参考意見を伺える方2名の氏名・所属・連絡先

8. 応募締切 令和7年8月29日（金） 必着

9. 選考方法

第一次選考 書類選考

第二次選考 面接（面接のための旅費等は応募者の負担となります。）

※ 面接はウェブ会議システムを用いて行う場合があります。

10. 応募書類送付先・問合せ先

名古屋大学教育推進部教育企画課教育統括係 宛

E-mail : k-tokatsu@t.mail.nagoya-u.ac.jp

電話：052-789-2158 FAX：052-789-2167

※ 応募の際は件名に【教育基盤連携本部 高等教育人材育成システムグループ助教 応募】と記載願います。

※ 応募書類はすべて電子ファイルでメール添付、ファイル共有サービス等にてご提出願います。

履歴書にはパスワードを設定願います。その他のファイルについてはパスワード不要です。

11. 問合せ先

名古屋大学教育推進部教育企画課教育統括係 宛

E-mail : k-tokatsu@t.mail.nagoya-u.ac.jp

電話：052-789-2158 FAX：052-789-2167

備考

- (1) 提出された応募書類は選考以外の目的には使用しません。

- (2) 名古屋大学は業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用しています。
- (3) 2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。様式は以下のURLから取得してください。

<https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/Swfp7NdH7PGitf4>

- (4) 本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下のURLをご覧ください。

ジェンダーダイバーシティセンター Web サイト:

<https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/>

ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロッキング (Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB) 推進宣言:

<https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html>

1) アカデミック・セントラル（東海国立大学機構教育基盤統括本部）と教育基盤連携本部との関係

アカデミック・セントラルは、東海国立大学機構における教育の共同基盤の企画立案等を担う機構に置かれた組織であり、本学の教育基盤連携本部の教員がその中核を担っている。

2) 教育基盤連携本部の業務

本学の教育の3方針（アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーをいう。以下「教育方針」と総称する。）に基づき、学位授与、教育課程の編成・実施及び入学者選抜を一体的に精査及び改革するとともに、その実現に向けた教学マネジメント・システムの構築に係る企画・立案及び全学的な実施支援等を担う。本部には、高等教育システム開発部門及びアドミッション部門の2部門が置かれている。

3) 高等教育研究センターの業務

本学の学内共同教育研究施設の1つであり、教育基盤連携本部の教員が兼務する。国際的な視野のもとに高等教育機関の戦略的課題の解決に貢献することをミッションとし、研究開発の成果をふまえた知見の提供や問題解決への参画を行う。

関係URL

アカデミック・セントラル

<https://ac.thers.ac.jp/>

教育基盤連携本部

<http://www.nuqa.nagoya-u.ac.jp/>

高等教育研究センター

<https://web.cshe.nagoya-u.ac.jp/>